

2017年度 和泉短期大学

授業科目名	介護総合実習Ⅱ	教員氏名	佐久間志保子・佐藤美紀・下西潤子
学年	専攻科		
授業形態	実習	開講学期	後期
必修・選択	必修	単位数	5単位
テーマ	介護福祉士として自覚を持ち、専門職に求められる資質、技術及び自己に求められる課題を把握し総合的対応能力を学ぶ		
授業の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象者を選択し、個別援助計画を立案・実践・評価する流れを理解する 2. 利用者の個別理解を深め、幅広い生活支援技術を指導者の下に実践する 3. 施設内での他職種協働や関係機関との連携を理解し、状況に応じて見学・体験する 4. 介護福祉士としての介護観が確立する 		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ①対象者を選択することができ、個別援助計画を立案・実践・評価する流れを理解できる ②利用者の個別理解を深め、幅広い生活支援のあり方が理解できる ③施設内での多職種協働や関係機関との連携を通してチームの一員である介護福祉士の役割を理解できる ④介護福祉士としての介護観が確立できる 		
テキスト	なし		
参考書	『実習の手引き』		
ポートフォリオ	なし		
成績評価方法	<ol style="list-style-type: none"> ①事前の書類（提出状況） ②実習中の状況（巡回指導時の状況を含む） ③実習への出席状況 ④実習先からの実習評価 ⑤実習日誌の記述内容を総合的に評価 		
授 業 概 要 と 課 題			
第1回	テーマ内容	施設概要や利用者の生活の理解をする	
	授業外指示	施設の概要を事後学習する	
第2回	テーマ内容	施設で生活する利用者の生活を理解する	
	授業外指示	コミュニケーションを図り、利用者の特性を事後学習する	
第3回	テーマ内容	自立をめざす介護の理解をする	
	授業外指示	事例対象者の選択をめざす	
第4回	テーマ内容	障がいレベルに応じた生活支援技術の基本的な実践をする（1）	
	授業外指示	介護の基本を事後学習する	
第5回	テーマ内容	障がいレベルに応じた生活支援技術の実践をする（2）	
	授業外指示	障がいレベルの合わせた支援方法を事後学習する	
第6回	テーマ内容	医務室業務を通して、利用者の健康管理の理解する	
	授業外指示	施設での介護と看護の連携を事後学習する	

第7回	テーマ 内容	厨房の業務を通して、食事形態の理解する
	授業外指示	施設での食事の献立やソフト食、流動食など食事形態を事後学習する
第8回	テーマ 内容	ケース会議等に参加し、他職種の役割を理解する
	授業外指示	施設に勤務する他職種の理解を事後学習する
第9回	テーマ 内容	レクリエーション等の集団活動への参加する(1)
	授業外指示	集団活動の事後学習をする
第10回	テーマ 内容	レクリエーション等の集団活動への参加する(2)
	授業外指示	施設での行事や地域との連携を事後学習する
第11回	テーマ 内容	変則勤務形態を体験し、利用者の生活状況を理解する
	授業外指示	変則勤務形態を事後学習する
第12回	テーマ 内容	個別援助のための利用者の情報収集を実施する
	授業外指示	利用者の情報収集の事後学習をする
第13回	テーマ 内容	情報収集からアセスメントし、ニーズの抽出する
	授業外指示	情報の分析を事後学習する
第14回	テーマ 内容	個別援助の課題、目標、援助内容を理解する(1)
	授業外指示	介護過程を事後学習する
第15回	テーマ 内容	個別援助の課題、目標、援助内容を理解する(2)
	授業外指示	具体的な援助内容の事後学習をする
第16回	テーマ 内容	個別援助計画の実践をする(1)
	授業外指示	対象者との実践を事後学習する(1)
第17回	テーマ 内容	個別援助計画の実践をする(2)
	授業外指示	対象者との実践を事後学習する(2)
第18回	テーマ 内容	個別援助計画の実践をする(3)
	授業外指示	対象者との実践を事後学習する(3)
第19回	テーマ 内容	個別援助計画の評価をする
	授業外指示	個別援助計画の評価の事後学習する
第20回	テーマ 内容	介護に対する考え方が確立する
	授業外指示	介護観を事後学習する